

デイサービスセンター青空

令和4年度 事業計画

1. 事業計画・運営方針

- (1) 法人理念の浸透によりチームとしてのパフォーマンスを発揮する
- (2) 財政基盤の安定と透明性
- (3) 人材育成の強化
(学び続ける姿勢を持ち続け自己成長に繋げていく)
- (4) 通信・インフラの整備

重点目標

- ① 「信愛和誠」の理念に基づき、利用者に寄り添ったケアが実現できるよう、日々の支援活動や意思決定が理念に基づいて行われるように周知する。
- ② 等級基準書により主任・各職員が職責内容を理解し、チームのパフォーマンスを発揮できるようにする。
- ③ 地域密着型デイサービスとして地域に開かれた活動を実施し、自施設の情報の発信や地域ニーズの把握に努める。(青空カフェ等による高齢者相談窓口・運営推進会議の実施・ボランティアの受入れ・地区活動への参加・広報誌作成、ホームページやSNSの活用。)
- ④ 利用者様の楽しみ・喜びの提供、ADLの維持向上を目指す為、内容の充実した職員年間目標管理シートの作成・実行を周知する。

2. 施設運営

① デイ事業

- ・年間目標 稼働率 80%以上 (14.7人/日)
- ・月目標 新規利用者 2名 稼働 8日/月の増加
- ・加算継続 (サービス提供体制加算 I)

② 利用者健康管理

年間保健行事

- ・新型コロナウイルス感染症予防の徹底 (年間)
- ・ノロウイルス、インフルエンザウイルス流行前の周知活動 (10~11月)
- ・来所時のうがい手洗いの徹底、マスクの着用

③ 主な年間行事

月	行事	月	行事
4月	花見	10月	アンケート実施 デイ運動会
5月	端午の節句	11月	片浜小中、愛鷹中体験 片浜地区文化祭
6月		12月	クリスマス会
7月	七夕・運営推進会議①	1月	年賀式
8月	夏祭り	2月	節分/小諏訪作品展 運営推進会議②
9月	敬老会・ノロインフル周知	3月	ひな祭り

④ ボランティア活動

今年度は新型コロナウイルス感染状況を見ながら国・県・市と情報連携し感染予防対策のとれる範囲で受け入れを行う。

⑤ 食事

栄養士・厨房職員と協力し本人に適切な食事形態や本人の嗜好に合わせた食事内容の提供を適宜行う。(年2回嗜好調査アンケート実施)

⑥ 衛生管理

- ・持ち込まない、広げない為の活動の継続
- ・1日2回次亜塩素酸消毒の実施及びチェック(手摺・蛇口・トイレ・テーブル等)
- ・感染症流行期(12月～3月)の使用毎のトイレ消毒
- ・月2回以上の床の湿式清掃の実施
- ・1ケア1手洗いの徹底・マスクの常時着用
- ・嘔吐ボックスの定期点検、準備(感染症対策委員中心に3か月毎)

⑦ 安全管理

- ・車いすやシルバーカーなどの定期的な点検の実施(週1回)
- ・利用者の座る椅子・テーブル等の不具合の点検(月1回)
- ・施設内の危険個所の気づきを呼びかける(随時)

3. 職員処遇

① 職員構成

	デイ		
	常勤	常勤兼務	非常勤
管理者		1	
生活相談員		2	
介護職員		2	4
看護師兼機能訓練指導員		2	
介護支援専門員			
施設管理		1	2

事務員		1	
-----	--	---	--

② 健康管理

- ・健康診断 年 1 回 11 月
- ・細菌検査（検便） 月 1 回

③ 職員会議

- ・毎月実施・・・全体会議、職場会議、感染症会議、交流会議、リーダー会議
給食会議、NS 会議、衛生会議
- ・随時開催・・・身体拘束廃止会議、安全対策会議

④ 職員研修

- ・内部研修会の企画・運営・実施を組織的に行う
- ・外部研修への積極的な参加・フィードバックを行う

4. 施設管理

① 事務・設備関係

- ・施設管理課による床清掃 月 1 回
- ・施設管理課によるお風呂場高圧洗浄 月 1 回
- ・害虫駆除 年 2 回
- ・電気設備点検 月 1 回
- ・浄化槽点検 月 1 回
- ・エレベーター点検 月 1 回

5. 災害対策

① 避難訓練・防災設備の点検及び非常食の備蓄を行う。

- ・災害避難時の避難訓練（毎月）を行う。
- ・防災設備の点検を行う。（年間 2 回）
- ・非常食糧の備蓄をする。（毎年備蓄量を確認、記録）
- ・年 2 回、消防署合同の施設総合防災訓練を実施する。

② 不審者対応訓練

- ・年 2 回 内 1 回は警察署合同の訓練を実施する。

6. 利用者家族に向けて

① お知らせ

- ・毎月 1 回青空信愛和誠新聞を発行し日々の様子を家族に伝える。
- ・HP に信愛和誠新聞を載せ、インターネット上からも閲覧可能にする。

② アンケートの実施

- ・年 1 回のアンケート調査にてケアの自己点検を行う。

7. 地域連携

- ・地域住民に向けた認知症カフェの開催（企画・立案・運営）を行う。
（地域高齢者支援の窓口としての機能が果たせるよう活動を継続）
 - ・地域住民の方や市役所との連携や交流のため、運営推進会議を開催する。
（7月・1月）
 - ・片浜地区文化祭（11月）、小諏訪地区で開催される作品展（2月）に出展し参加。
 - ・ボランティアの受け入れを積極的に行う。
 - ・片浜小中学校、金岡中学校の職場体験の受け入れを行う。
- いずれも COVID-19 の感染状況に応じて変更がありえる。

8. 資金計画

- ・通常の運営経費は、介護給付費、利用者負担金収入等でまかなう。
- ・事業活動収支差額 5%を本部に繰り入れる。